

2018年3月期

第3四半期決算説明会

USHIO

ウシオ電機株式会社

2018年1月31日

<免責事項>本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

- 2018年3月期第3四半期は**増収増益決算**
- 通期の業績予想は**据え置き**

- I. 第3四半期業績概況
- II. 通期業績見通し
- III. 参考資料

今回の決算発表のポイント

連結売上高は前年同期比3.8%増の1,297億円
連結営業利益は前年同期比49.8%増の85億円となり**増収増益決算**

売上高 : 1,297億円 (前年比+48億円、3.8%増)

- 半導体・電子部品及びFPD関連市場は好調に推移し、UVランプ及び光学装置が増収

営業利益 : 85億円 (前年比+28億円、49.8%増)

- 光学装置の収益性改善および前期実施の早期希望退職により増益

親会社株主に帰属する

四半期純利益 : 85億円 (前年比+24億円、39.7%増)

- 「厚生年金基金代行返上益」計上 (1Q_60億円)
- 米国税制改正法の成立等に伴う繰延税金資産の減少により「法人税等調整額」計上 (3Q)

※為替レート (FY17_第3四半期) : 1USD = 112円

2017年度 第3四半期 売上高・損益

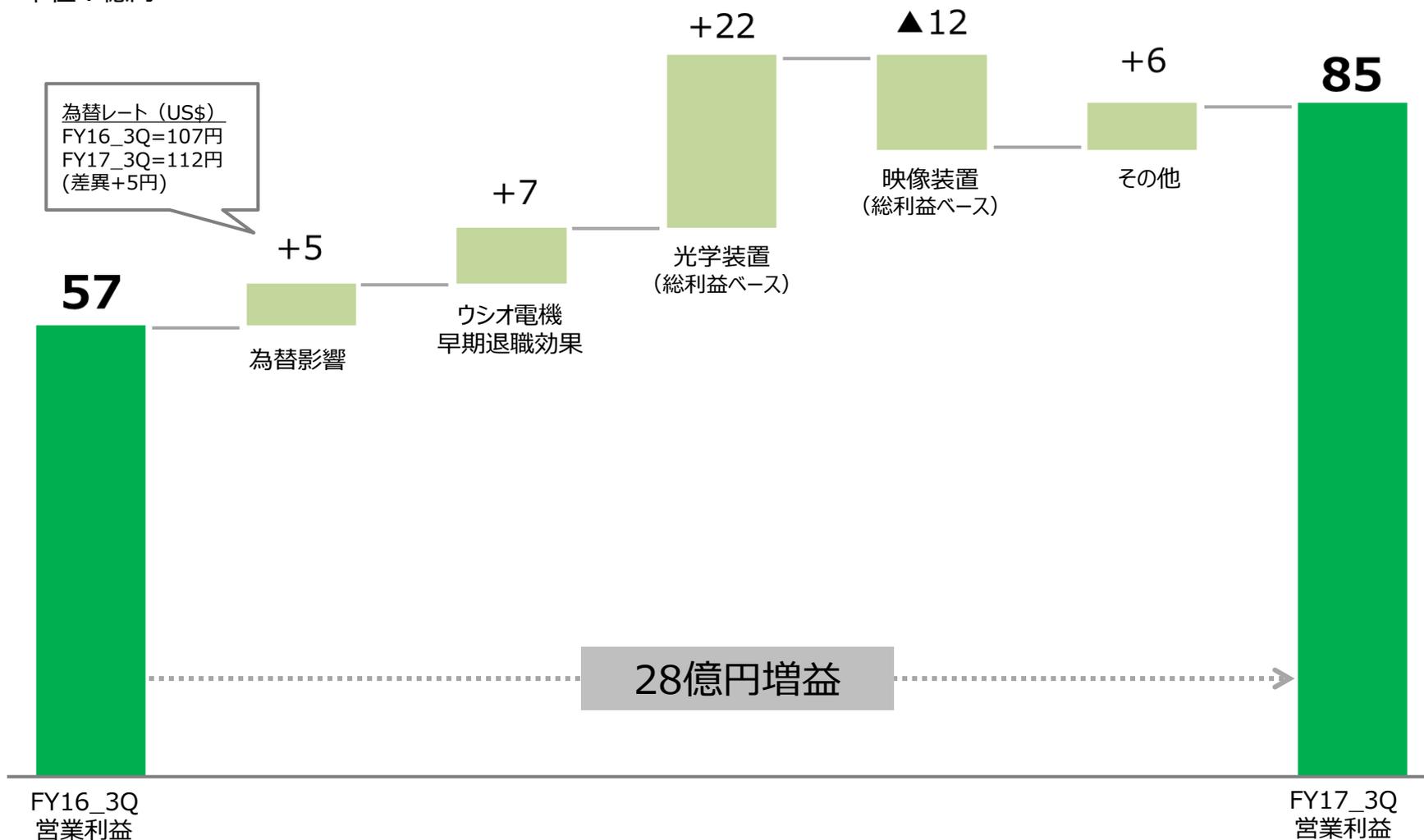
単位：億円	FY16 3Q累計	FY17 3Q累計	前年同期比		
			増減	%	
売上高	1,249	1,297	+48	+3.8	
営業利益	57	85	+28	+49.8	
営業利益率(%)	4.6	6.6	+2.0P	-	
経常利益	80	108	+27	+34.1	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	60	85	+24	+39.7	
EPS (円)	47.58	66.56	+18.99	+39.9	
為替レート (円)	USD	107	112	+5	-
	EUR	119	128	+9	-

為替感応度：1円変動による影響額（通期）

	売上高	営業利益
対USDドル	約10億円	約1.5億円

前年同期比 営業利益増減分析 (3Q累計)

単位：億円



注：「光学装置（総利益ベース）」～「その他」の要因は、「為替影響」を除いた金額。

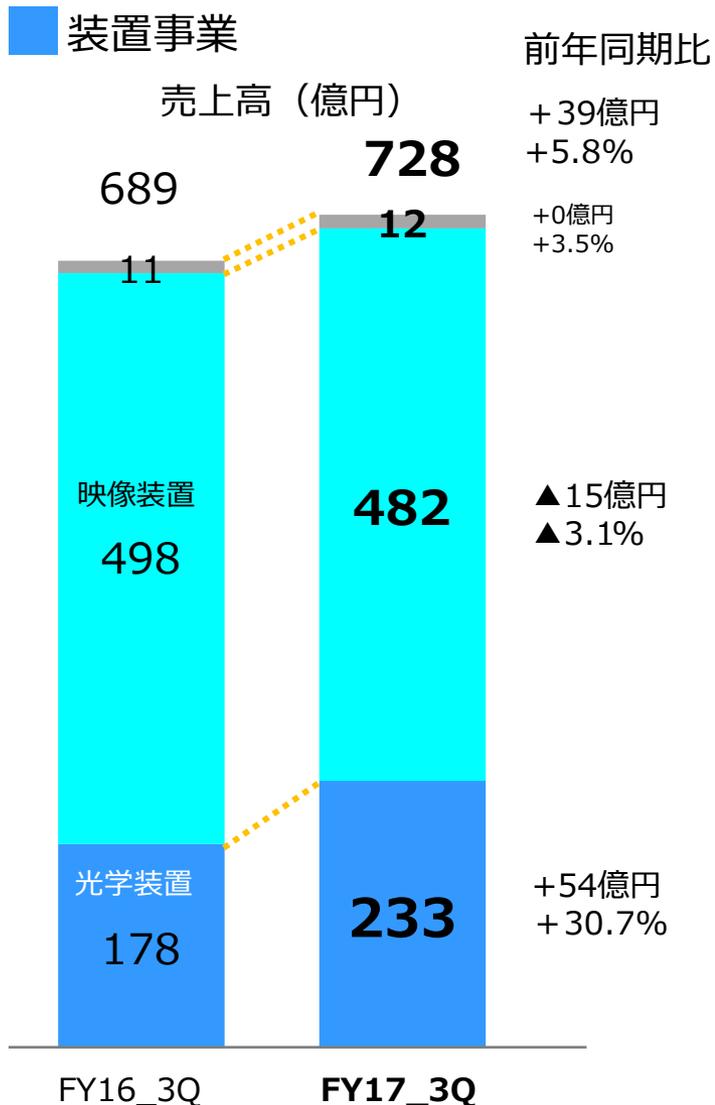
注：「光学装置（総利益ベース）」及び「映像装置（総利益ベース）」は、「ウシオ電機早期退職効果」を除いた金額。

セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率

単位：億円		FY16	FY17	前年同期比	
		3Q累計	3Q累計	増減	%
装置事業	売上高	689	728	+39	+5.8
	営業利益	▲0	4	+4	-
	営業利益率 (%)	▲0.1	0.6	+0.6P	-
光源事業	売上高	535	547	+11	+2.2
	営業利益	54	79	+24	+45.4
	営業利益率 (%)	10.2	14.6	+4.3P	-
その他	売上高	24	21	▲3	▲14.0
	営業利益	0	1	+1	-
	営業利益率 (%)	0.1	5.6	+5.5P	-
全社・消去	営業利益	2	0	▲2	-

注：売上高は外部顧客への売上高を記載、営業利益率は外部顧客売上高に対する営業利益率

セグメント別 概況 (1)



3Qの概況

映像装置

シネマ：▲8%

- DCP販売台数は中国を中心に2割弱減少。

一般映像：+2%

- ソリューション型案件の増加。

光学装置

UV装置：+47%

- 次世代スマホのメイン基板用直描式露光装置の販売が引き続き好調に推移。
- 電子デバイス向け投影露光装置の需要は堅調に推移。

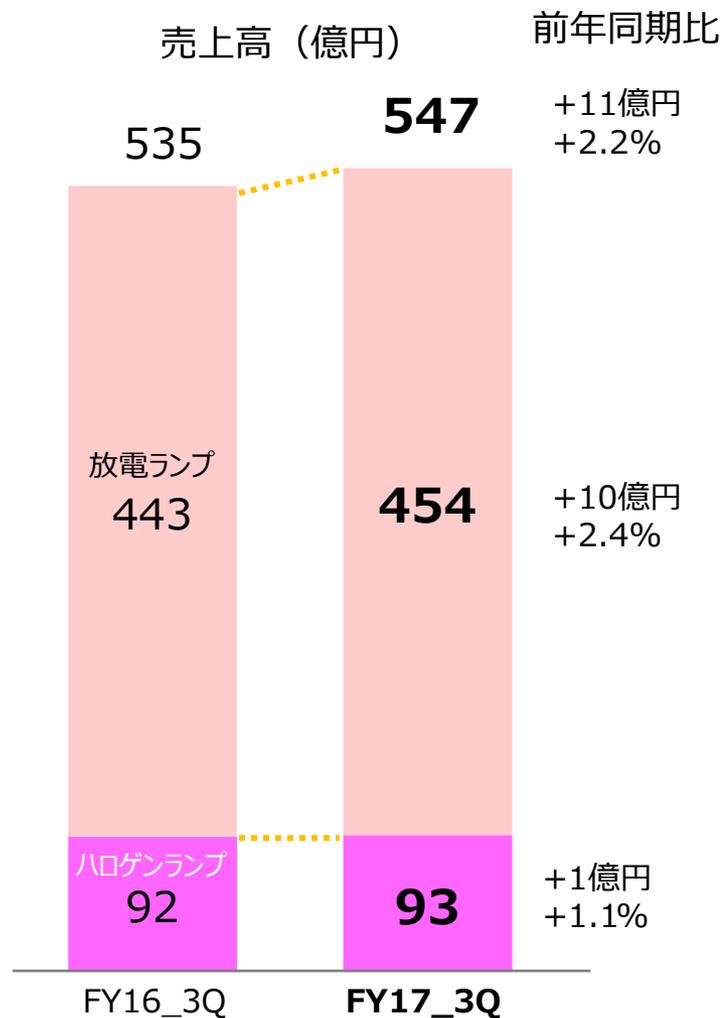
キユア装置：+14%

- 中小型液晶パネルの高精細化投資継続。

注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

セグメント別 概況（2）

光源事業



注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

3Qの概況

放電ランプ

UVランプ：+11%

- 半導体及びFPD関連の設備投資拡大によりランプ需要が増加。

シネマ用ランプ：▲4%

- 中国市場における固体光源化が拡大し、ランプ需要が減少。

データプロジェクター用ランプ：+7%

- 当社ランプを採用したユーザーの新製品販売が好調に推移。

ハロゲンランプ

OA用ランプ：+3%

- 高付加価値な環境対応製品の販売が貢献。

照明用ランプ：▲9%

- 固体光源化が拡大し、ランプ需要が減少。

-
- I. 第3四半期業績概況
 - II. 通期業績見通し
 - III. 参考資料

2017年度 通期業績予想

2018年3月期 通期業績予想 は **据え置き**

単位：億円	FY17 3Q累計	通期公表値 (5.11公表)	進捗率 (%)
売上高	1,297	1,800	72.1
営業利益	85	100	85.9
営業利益率(%)	6.6	5.6	—
経常利益	108	115	94.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	85	110	77.3
為替 (円) : USD	112	110	—
EUR	128	115	—

為替感応度：1円変動による影響額（通期）

	売上高	営業利益
対USDドル	約10億円	約1.5億円

2017年度 通期業績予想 サブセグメント別売上高（通期）

単位：億円

		FY17 3Q累計	通期予想 (10.30修正)	進捗率 (%)	4Q予想	
売上高	装置事業	映像装置	482	675	71.5	映像装置 4QのDCPIは、季節性に加え、中国での固体光源化の影響により弱含みで推移見込み。
		光学装置	233	325	71.9	
		照明装置他	12	25	49.1	
		小計	728	1,025	71.1	
	光源事業	放電ランプ	454	625	72.7	放電ランプ ■ UVランプは、半導体・FPDの旺盛な設備投資により引き続き好調に推移。 ■ シネマ用ランプは、中国での固体光源化の影響が継続し弱含みで推移。
		ハロゲンランプ	93	120	78.0	
		小計	547	745	73.5	
	その他	産業機械他	21	30	71.5	
	合計		1,297	1,800	72.1	

- I. 第3四半期業績概況
- II. 通期業績見通し
- III. 参考資料**

参考：四半期推移（損益）

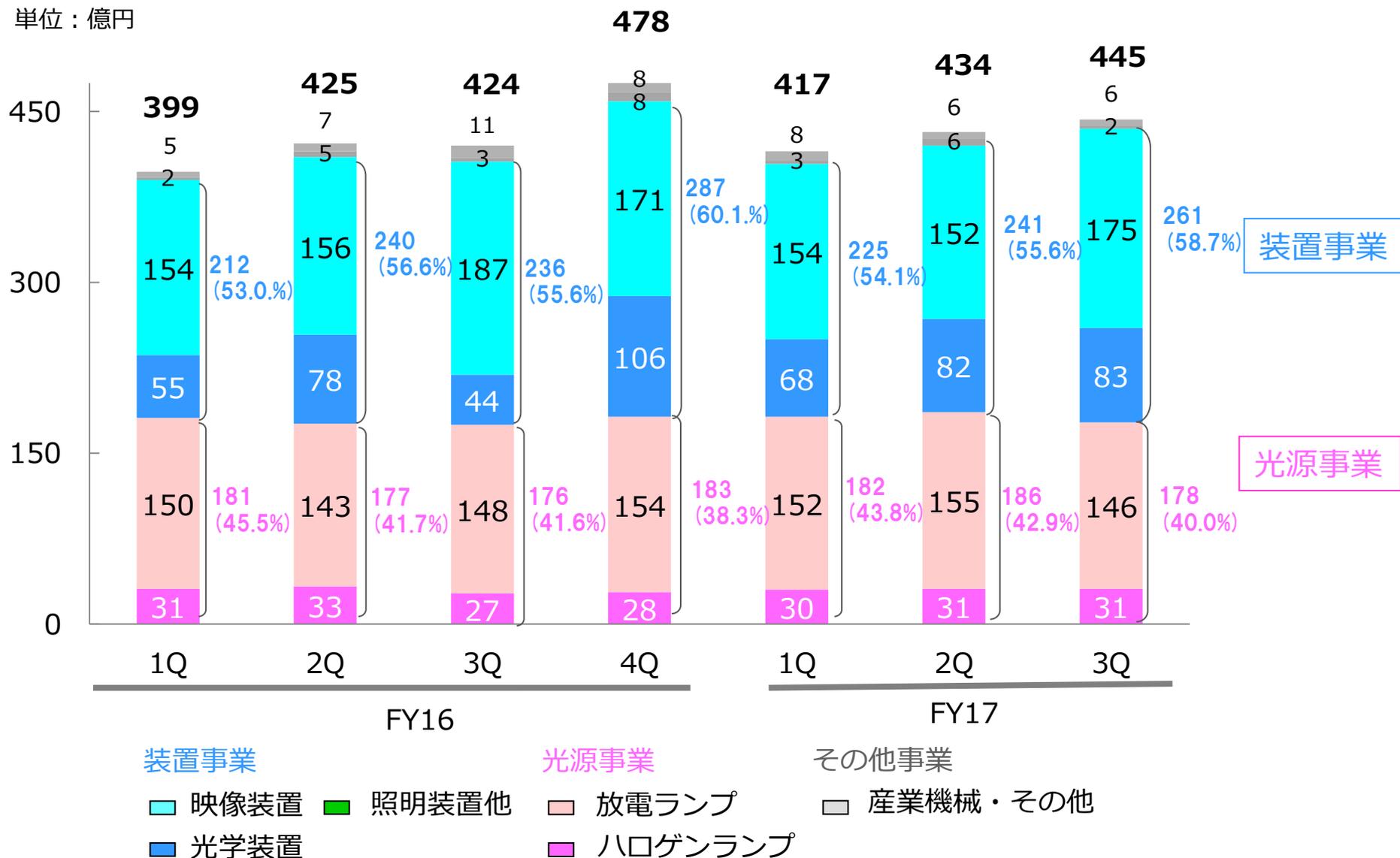
単位：億円	FY17			差異（3Q-2Q）	
	1Q	2Q	3Q	増減	%
売上高	417	434	445	+10	+2.5
営業利益	28	28	29	+1	+4.2
営業利益率（%）	6.7	6.5	6.6	0.1P	-
経常利益	39	30	37	+7	+22.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	65	17	2	▲15	▲88.1
EPS（円）	51.32	13.62	1.63	▲11.99	▲88.1
為替レート（円）	-	-	-	-	-
USD	111	111	113	+2	-
EUR	122	130	132	+3	-

参考：四半期推移（セグメント別）

単位：億円	FY17			差異（3Q-2Q）	
	1Q	2Q	3Q	増減	%
装置事業					
売上高	225	241	261	+19	+8.2
営業利益	0	▲0	4	+4	-
営業利益率（%）	0.2	▲0.1	1.6	+1.7P	-
光源事業					
売上高	182	186	178	▲8	▲4.5
営業利益	26	28	24	▲3	▲12.7
営業利益率（%）	14.4	15.3	14.0	▲1.3P	-
その他					
売上高	8	6	6	▲0	▲8.2
営業利益	0	0	0	+0	+56.1
営業利益率（%）	7.6	3.2	5.4	+2.2P	-

参考：サブセグメント別売上高《四半期推移》

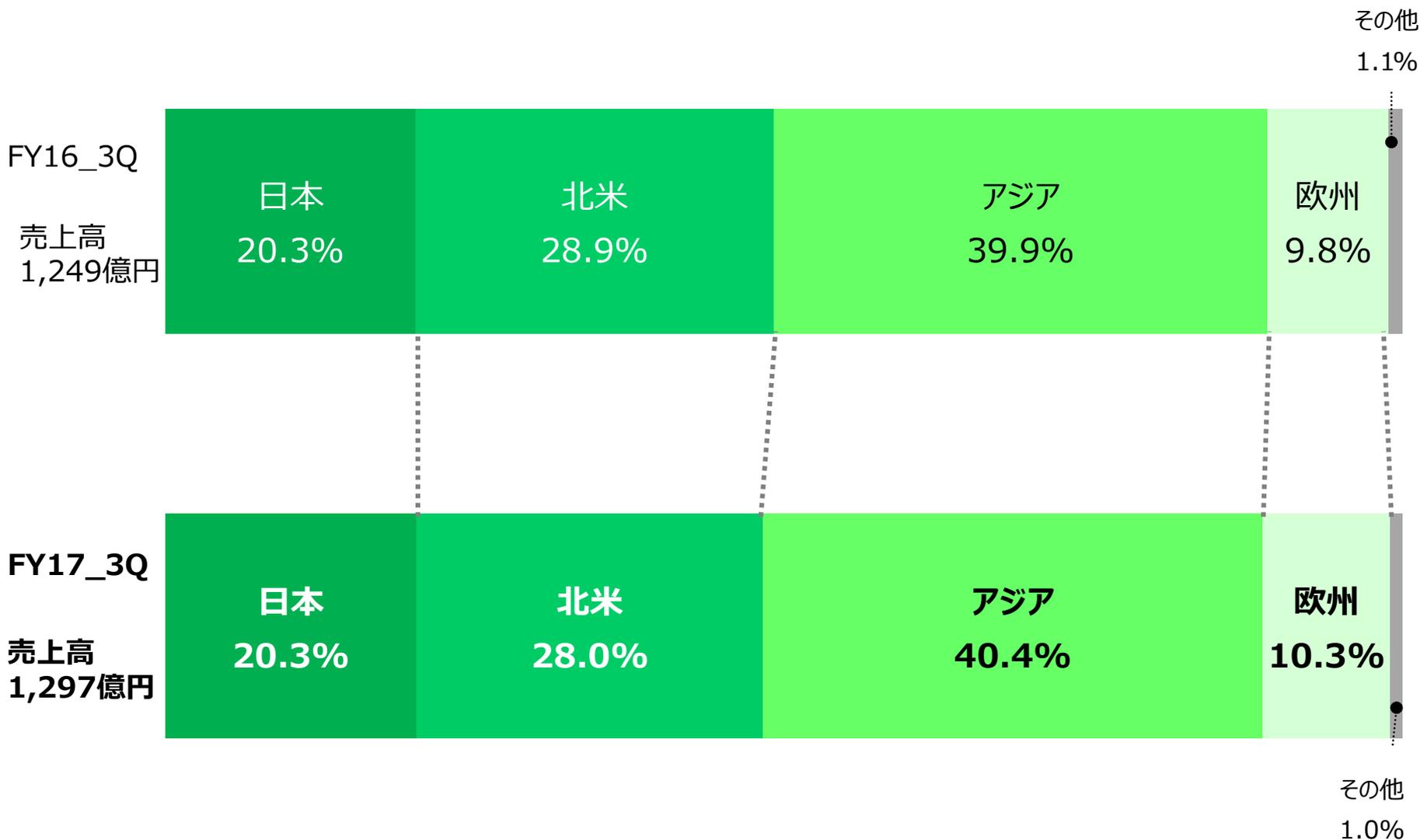
単位：億円



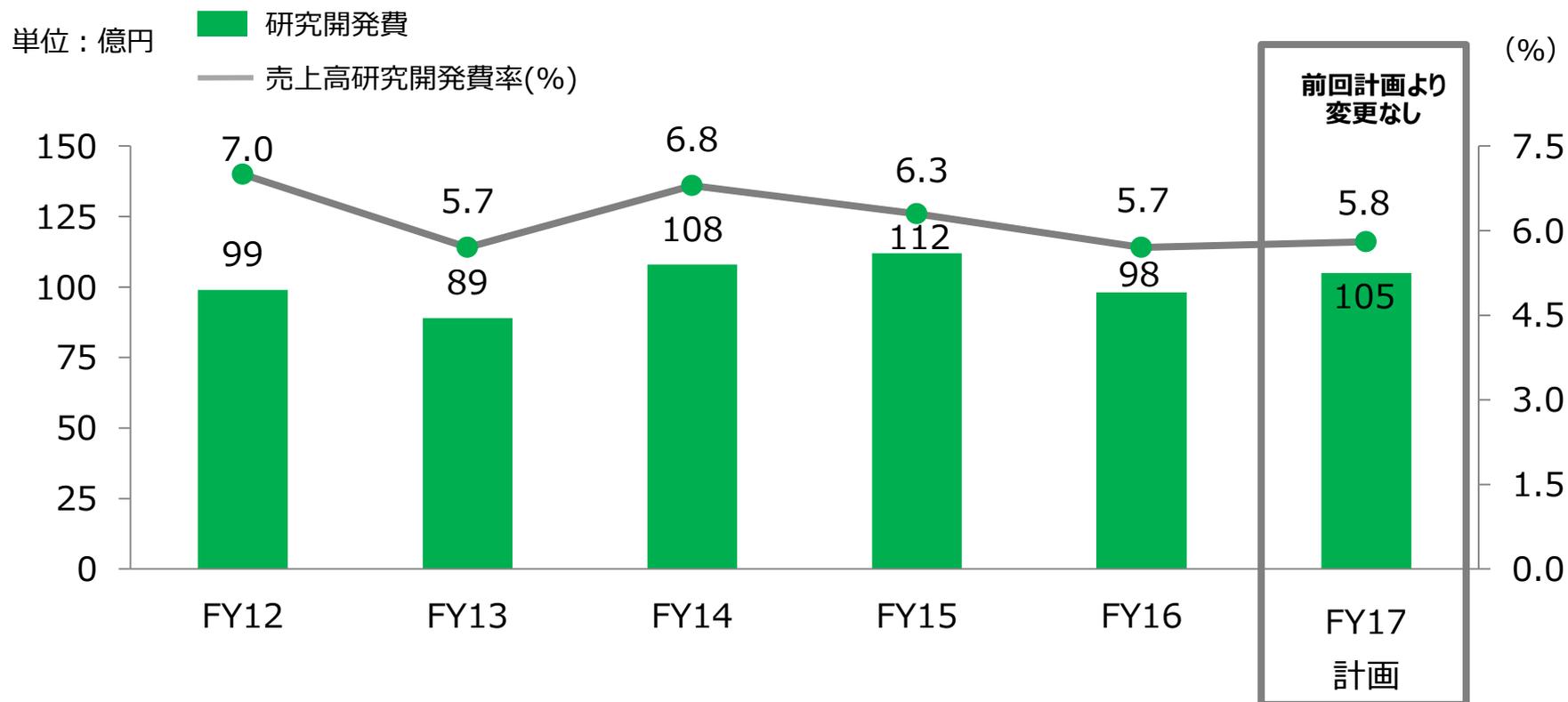
参考：営業外収支、特別利益/特別損失 《3Q累計》

単位：億円	FY16 3Q	FY17 3Q	前年 同期比	単位：億円	FY16 3Q	FY17 3Q	前年 同期比
営業外収益	29	31	+2	特別利益	18	72	+53
受取利息	5	9	+3	固定資産売却益	4	1	▲2
受取配当金	12	14	+1	投資有価証券 売却益	14	10	▲4
売買目的有価 証券運用益	3	4	+0	厚生年金基金代行 返上益	-	60	+60
その他	6	3	▲3	その他	-	0	+0
営業外費用	5	9	+3	特別損失	7	10	+2
支払利息	2	3	+1	固定資産除却損	0	2	+1
為替差損	3	4	+1	特別退職金	0	3	+3
その他	0	0	+0	その他	7	4	▲2
営業外収支	23	22	▲1				

参考：地域別売上高比率



参考：研究開発費

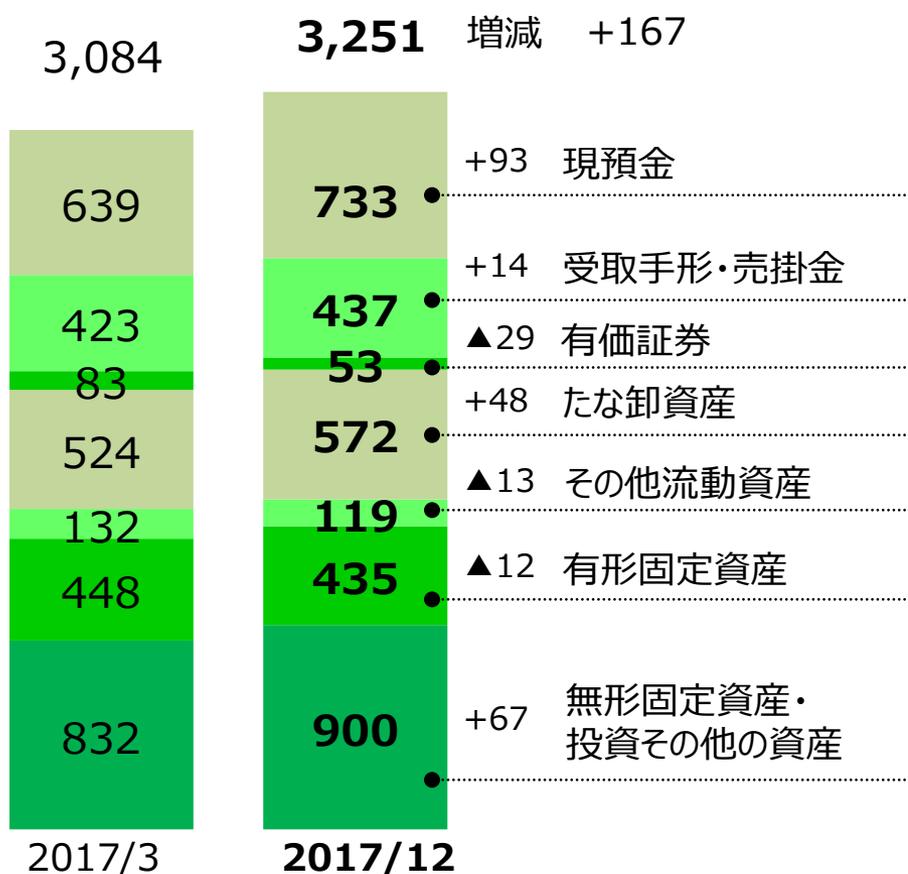


単位：億円

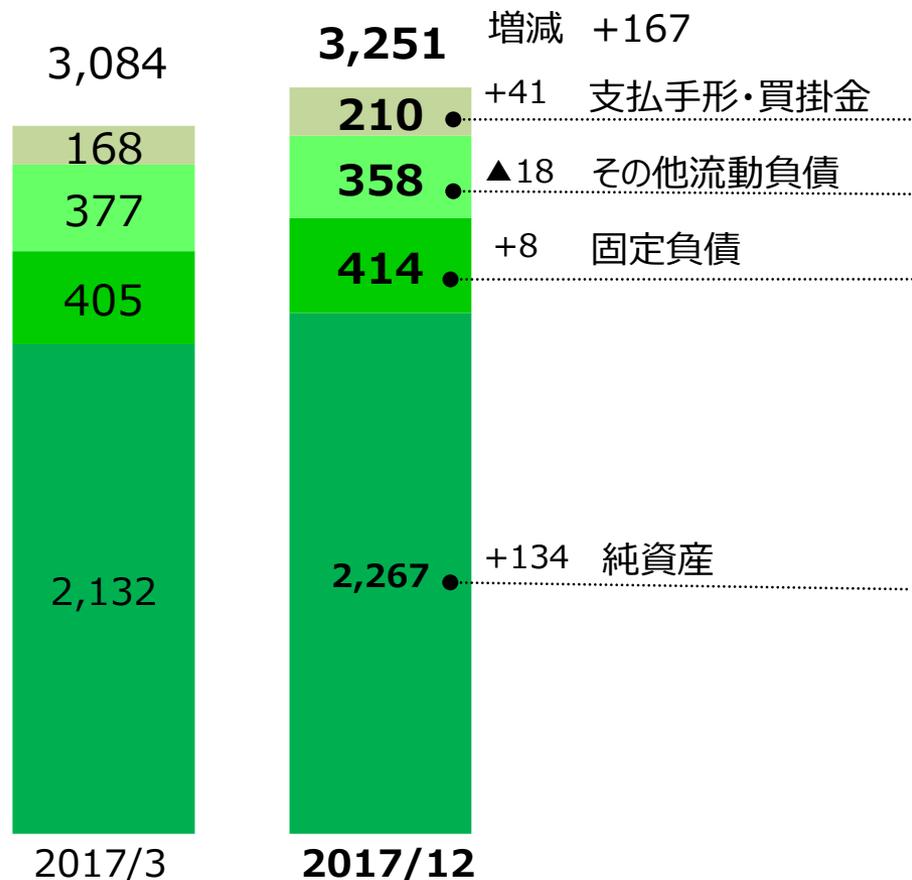
	FY16 3Q	FY17 3Q	前年同期比	
			増減	%
研究開発費	72	77	+5	+7.5
売上高研究開発費率 (%)	5.8	6.0	+0.2P	-

参考 : BS

◆ 資産 (億円)



◆ 負債・純資産 (億円)

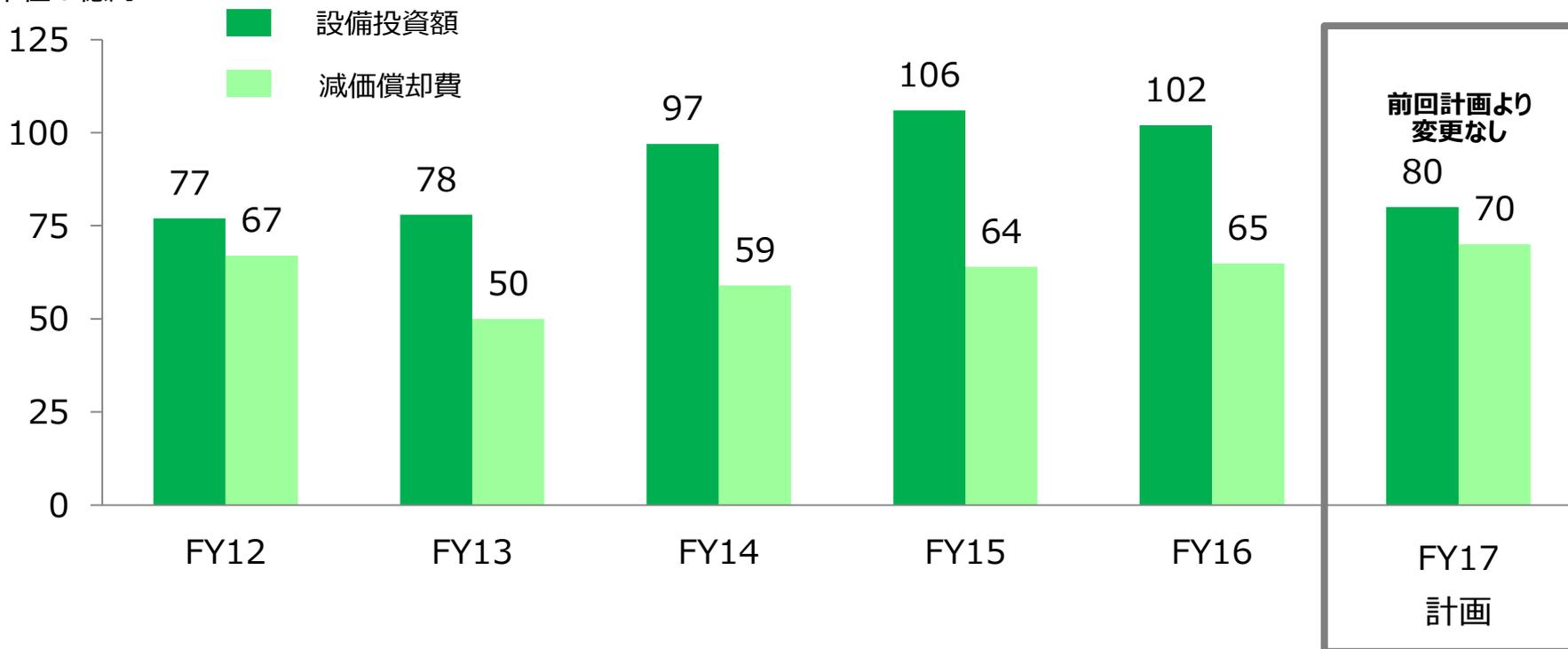


● 回転月数 (ヶ月)	2017/3	2017/12
売上債権	2.8	3.0
たな卸資産	3.8	3.8

● 自己資本比率 (%)	2017/3	2017/12
	68.9	69.6

参考：設備投資額・減価償却費

単位：億円



単位：億円

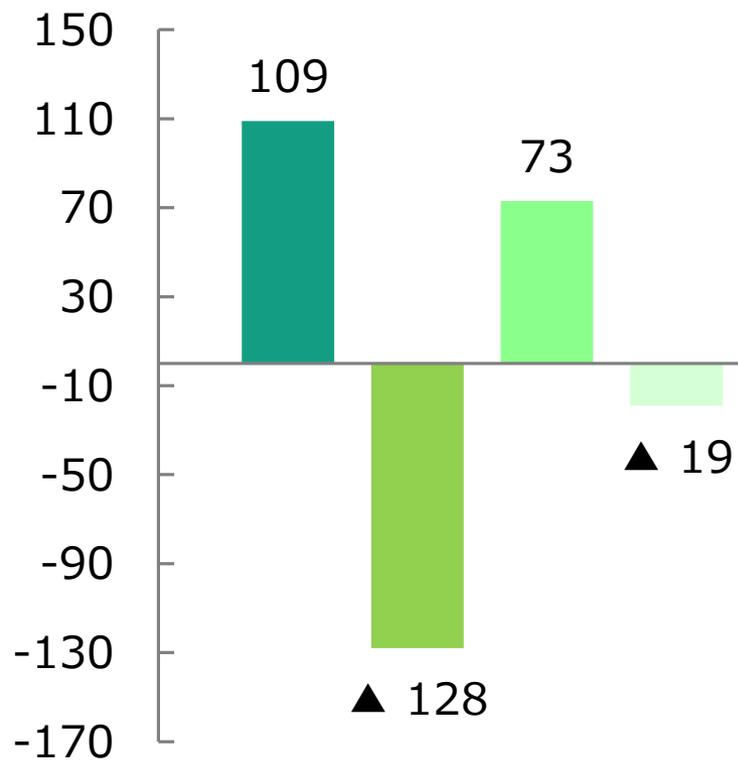
	FY16 3Q	FY17 3Q	前年同期比	
			増減	%
設備投資額	69	33	▲36	▲52.1
減価償却費	49	50	+1	+3.4

注1. 設備投資額は「有形固定資産」+「無形固定資産」。ただし、「のれん」は除く。

注2. 設備投資額に含まれない「のれん」増加額 FY16_3Q：- 億円、FY17_3Q：3億円

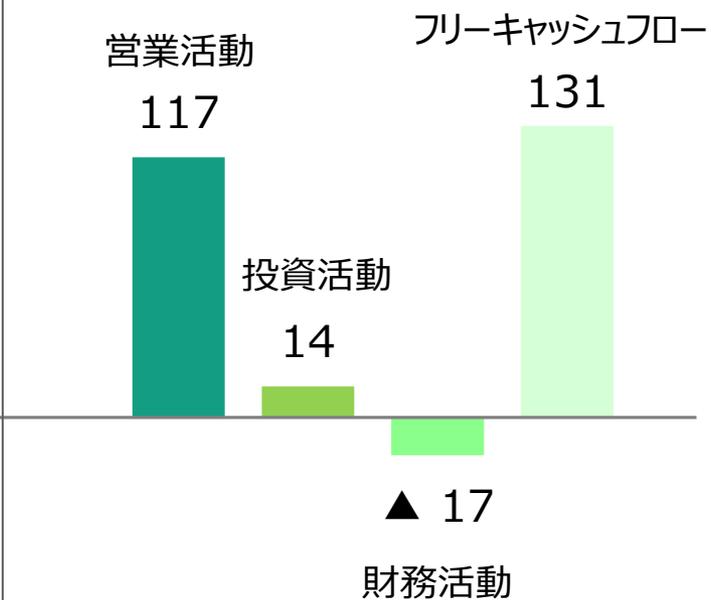
参考：キャッシュフロー

単位：億円



FY16_3Q

期首現金残高	478
期末現金残高	528



FY17_3Q

期首現金残高	509
期末現金残高	633

プレスリリース：世界初、ウシオ電機とシンガポール国立大学が人体に無害な222nm紫外線による褥瘡創傷の細菌消毒に成功

当社と、シンガポール国立大学病院 形成外科 部門長 Lim教授グループ（所在地：シンガポール、以下 NUH）は、褥瘡患者の創傷部位に対し、ウシオ製 222nmの紫外線照射装置を用いて人体に影響を与えることなく細菌を消毒することに世界で初めて※1成功しました。

ウシオはエキシマランプをベースとした「狭帯域スペクトル紫外線技術」により、ヒト細胞やヒト組織を損傷せずに選択的に細菌やウイルスを死滅させる紫外線殺菌システム※2を搭載した装置を開発し、NUHはそれを用いて圧迫性褥瘡患者を対象とした研究的臨床※3を行いました。その結果、222nm紫外線照射による急性疾患（紅班等）や慢性疾患など、人体への影響は一切確認されず、MRSAなど7種類の多剤耐性菌を減少できることが確認されました※4。

ウシオグループでは、医療や衛生分野での新規事業創出を経営重点課題と捉えており、さらに臨床を進め当装置の医療機器の認可取得を目指すと共に、紫外線殺菌技術を用いた手術時の感染症防止や手指殺菌など、アプリケーション開発を進めてまいります。



臨床に使用したウシオ製222nm照射装置外観

※1) 2017年11月1日時点、ウシオ調べ

※2) コロンビア大学放射線研究センターのBrenner教授研究チームが発見した紫外線による殺菌方法。エキシマランプによる特定波長帯域の紫外線などを使用する狭帯域スペクトル紫外線技術を使用し、ヒト細胞やヒト組織を損傷せずに選択的に細菌、ウイルスを死滅させる殺菌システム。ウシオは2015年3月に全世界の独占実施権を取得している。

※3) 多剤耐性菌に対する消毒効果の確認を目的に、圧迫性褥瘡患者に対し222nmの紫外線を患部に照射し、照射前後で感染菌の種類と数の計測を2週間継続するクリニカルスタディを行った。

ウシオエンターテインメントホールディングス(株)※の採用事例 「神話を彩る光と音の饗宴」

「松島（宮城）」、「宮島（広島）」と並び、日本三景と称される「天橋立」で毎年夏に開催されている「天橋立まち灯り」。

今年、ウシオエンターテインメントホールディングス（以下、UEH）の高出力で、迫力あるLEDカラーライティングと制御装置によって、これまでにない、彩り鮮やかな光の世界となりました。昼間は海水浴場として賑わう砂浜をフルカラーで染め上げるとともに、音楽と同期させることで、抑揚の付いた演出を実現し訪れた方々を魅了しました。UEHが提供する照明・映像・音響のトータルソリューションが、訪れた人々を、時と共に色彩が変化する幻想的な空間へと導きました。

実際のライトアップの様子



※ウシオエンターテインメントホールディングス(株)について 2017.3.10リリースより抜粋

日本におけるエンターテインメント事業強化に向け 統括会社を設立

－照明・映像・音響のグループ内リソースを最大化、
トータルソリューション提案へ－

日本における照明・映像・音響を中心としたエンターテインメント事業の強化を目的に、当社のグループ会社であるウシオライティング株式会社、マックスレイ株式会社、株式会社ジーベックスの3社を傘下に置く統括会社「ウシオエンターテインメントホールディングス株式会社」を2017年4月3日付で設立

参考：ウシオグループ プロジェクター光源別特徴

	ランププロジェクター		レーザープロジェクター	
光源	超高圧UVランプ	クセノンランプ	蛍光体レーザー	RGBレーザー
				
ルーメン	2,000~5,000 (多灯式~30,000)	8,000~35,000	5,000~30,000	20,000~60,000
用途	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般映像 (オフィス、家庭、教育用データプロジェクター) ■ シネマ (多灯) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ シネマ ■ 一般映像 	<ul style="list-style-type: none"> ■ シネマ (中国など) ■ 一般映像 (ホール、イベントなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ レーザーシネマ (Dolby Cinemaなど) ■ 一般映像 (産業用VR、テーマパークのアトラクションなど)
価格	低	低-中	中	中-高
光源寿命	中*	中-長*	中-長	長
色	△○	○	△	◎

※ランププロジェクターにおいて、一般映像では超高圧UVランプが、シネマではクセノンランプの方が寿命が長い場合があります。

参考：用語集

DCP	Digital Cinema Projector	デジタルシネマプロジェクター
OA	Office Automation	オフィスオートメーション
OLED	Organic Light Emitting Diode	有機 E L
RGB	Red Green Blue	赤 緑 青
UV	Ultraviolet	紫外
FPD	Flat Panel Display	フラット・パネル・ディスプレイ
COF	Chip On Film	チップオンフィルム

USHIO

本資料に関するお問い合わせ先
ウシオ電機（株）経営企画部
(03) 5657-1007
ir@ushio.co.jp
<http://www.ushio.co.jp/jp/>